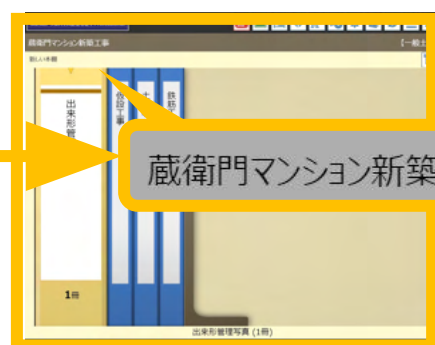
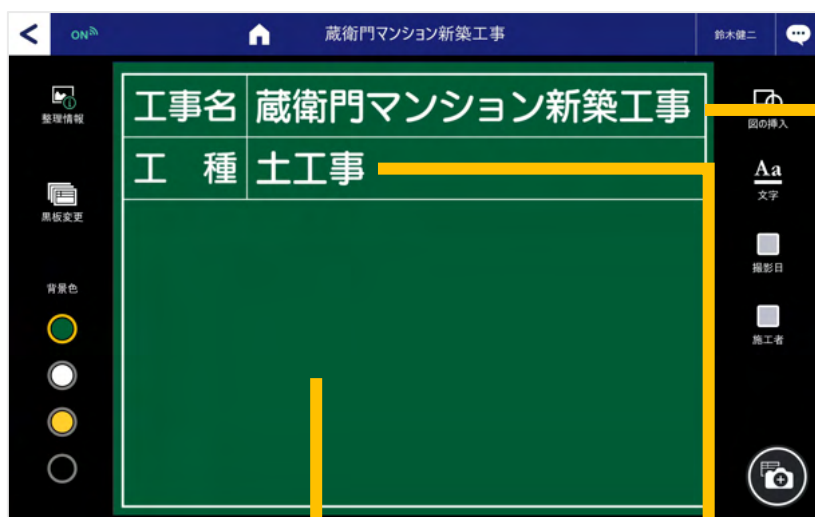


台帳連携の仕組み

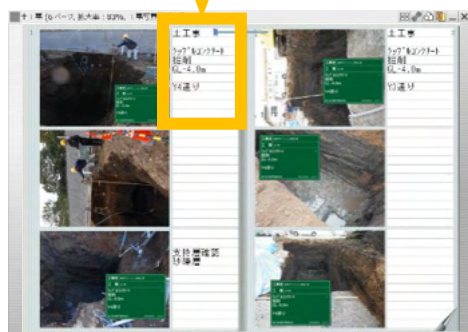
黒板の情報に合わせて自動的に写真を整理して、台帳まで保存します。
 どのようにして、黒板の情報が台帳に展開されるのかを図解で説明しています

黒板の情報と台帳の関係

工事名は本棚になります



(仕分け方法が標準の場合)
 第二項目ごとに台帳が
 作成されます

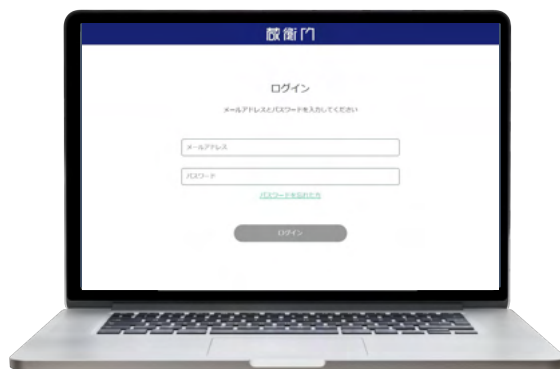


備考欄に入力された文字は
 蔵衛門御用達の文章欄に反映されます

【基本編】台帳を作成する①

撮影した工事写真と黑板情報を、『蔵衛門御用達DX』に保存します。

- 1** パソコンで蔵衛門クラウドにログインします。
<https://kuraemon.net/kcloud/>



- 2** 「アプリマーケット」の
ボタンをクリックします。



- 3** 『蔵衛門御用達DX』の【ダウンロード】ボタンを
クリックしてインストールします。



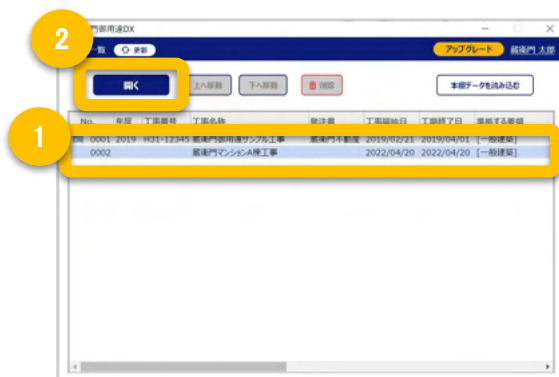
- 4** インストール後、デスクトップから
『蔵衛門御用達DX』を起動します。



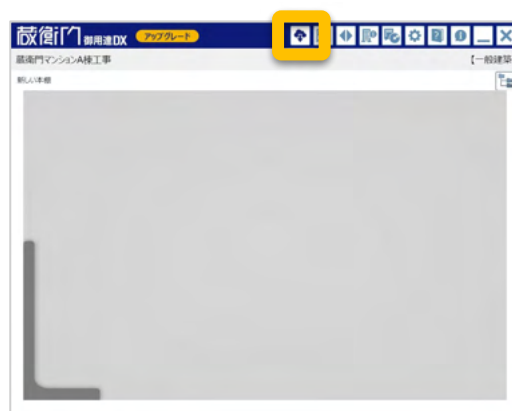
【基本編】台帳を作成する②

撮影した工事写真と黑板情報を、『蔵衛門御用達DX』に保存します。

- 5 『蔵衛門御用達DX』の工事一覧に
先ほど作成した工事が表示されます。
その工事を選択(①)して【開く】をクリックします。



- 6 『蔵衛門カメラ』で
撮影した写真を取り込みます。
【クラウドから写真取り込み】をクリックします。



- 7 写真の仕分け方法を選択します。
まずは【黑板の項目ごと】を選択して
【次へ】をクリックします、



- 8 仕分け結果が表示されます。
よろしければ【次へ】をクリックします。



【基本編】台帳を作成する③

撮影した工事写真と黒板情報を、『蔵衛門御用達DX』に保存します。

- 9 『蔵衛門カメラ』で撮影した写真が『蔵衛門御用達DX』にアルバムとして保存されました。



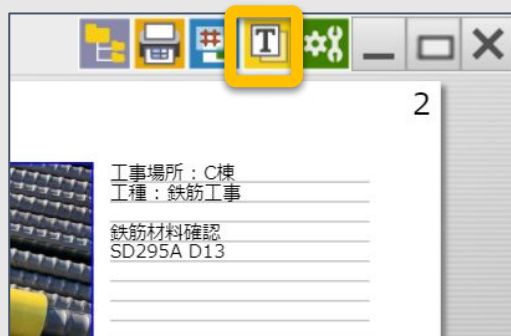
撮った写真をさらに細かく細かく仕分ける

第二項目名(工種、工事場所など)より細別したい場合「仕分け結果」の画面で【もっと細かく】をクリックします。黒板の第三項目名(記号など)ごとに、細かく仕分けることができます。



文章が表示されないときは？

アルバム右上「工事写真情報(X)」を「写真文章(T)」に切り替えると黒板の文字が表示されます。「工事写真情報(X)」では電子納品に必要な情報を入力することができます。



【応用編】黒板情報の無い写真を取り込む

黒板の無い写真は、工事情報が付与されていないため、そのままでは『蔵衛門御用達DX』に取り込むことができません。本ページでは、その場合の黒板の無い写真の取り込み方法を案内します。

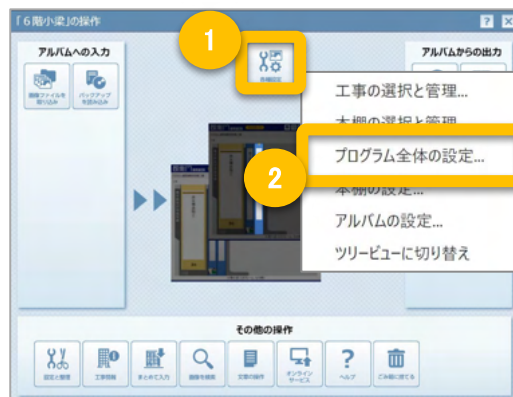
- 1** 『蔵衛門御用達DX』から工事を選択します。
※どの工事を選んで問題ありません。



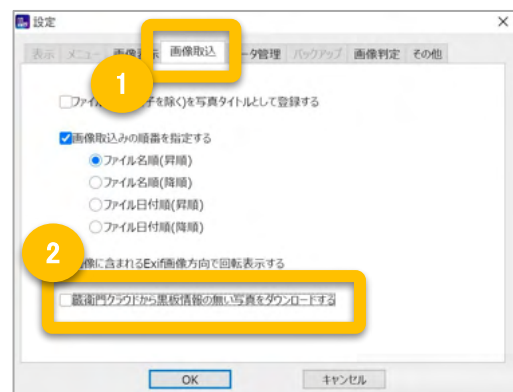
- 2** 本棚の画面で、アルバムを右クリックします。
※どのアルバムを選んで問題ありません。



- 3** 【各種設定(①)】を選択後、
【プログラム全体の設定】をクリックします。



- 4** ウィンドウのタブから【画像取込】を選択後、
【蔵衛門クラウドから黒板情報の無い写真をダウンロードする】にチェックを入れます。
※以後、すべての工事に適用されて黒板情報の無い写真が取り込めます。



蔵衛門クラウドを利用して本棚を共有する①

「蔵衛門御用達DX」では、2台以上のパソコンで工事を共有して利用することができます。
写真の整理や工事情報の登録を分担して効率よく行うことが可能です。

蔵衛門クラウドを利用した本棚共有の流れ



蔵衛門クラウドを利用した本棚の共有について

- ・蔵衛門クラウドで2023/5/24以降に作成した新規工事が対象です。
- ・対象の工事に「管理者」としてメンバーを追加するだけで、共有の設定が完了します。
- ・蔵衛門クラウドをフリーで利用している場合は、工事に「管理者」として参加していても利用できません。
- ・一人が本棚を編集中の場合、ほかのメンバーは閲覧モードで本棚を表示することができます。編集はできません。
- ・編集中の人が工事(本棚)を閉じると、その時点の編集データが蔵衛門クラウドにアップロードされ、ほかのメンバーが工事(本棚)を編集できるようになります。
- ・クラウド上に他のメンバーの編集データがある場合、工事(本棚)を開いたときにクラウドから最新の本棚データをダウンロードします。

工事を共有する手順

【事前準備】

- ①最新の蔵衛門御用達DX(Ver.1.2.0.0以上)をインストール
- ②新規工事を作成し、共有したいメンバーを工事に追加

【操作手順】

工事に参加したメンバーと本棚を編集

蔵衛門クラウドを利用して本棚を共有する②

【事前準備】

①最新の蔵衛門御用達DX(Ver.1.2.0.0以上)をインストールする

1 まだパソコンに蔵衛門御用達DX(Ver.1.2.0.0以上)がインストールされていない場合は、蔵衛門クラウド(WEB)からソフトをダウンロードします。

<https://kuraemon.net/kcloud/>

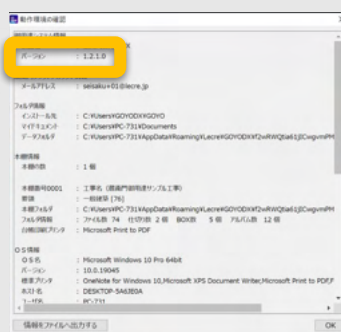
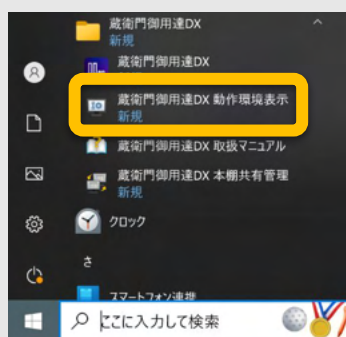


2 アプリマーケットより「蔵衛門御用達DX」(Ver.1.2.0.0以上)の【ダウンロード】をクリックします。



既にインストール済みの場合は…

既に蔵衛門御用達DXをパソコンにインストールしている場合は、動作環境から蔵衛門御用達DXのバージョンが最新(Ver.1.2.0.0以上)か確認します。バージョンが古い場合は、最新版へアップデートしてください。



蔵衛門クラウドを利用して本棚を共有する③

【事前準備】

②新規工事を作成し、共有したいメンバーを工事に追加します。

1 「蔵衛門クラウド」で新規工事を作成します。
※詳しくはP.15参照



2 「蔵衛門クラウド」で、共同編集したいメンバーを新規工事に招待します。

「蔵衛門クラウド」の工事一覧画面で【メンバー追加】をクリックします。



3 【他のメンバーを追加する】をクリックします。



4 追加したいメンバーのメールアドレスを入力し、権限を「管理者」を選択して【次へ】をクリックします。



蔵衛門クラウドを利用して本棚を共有する④

【事前準備】

②新規工事を作成し、共有したいメンバーを工事に追加します。

5 招待されたメンバーにはメールが届くので、【工事を確認する】をクリックすると工事に参加します。



蔵衛門クラウドを利用して本棚を共有する⑤

【操作手順】

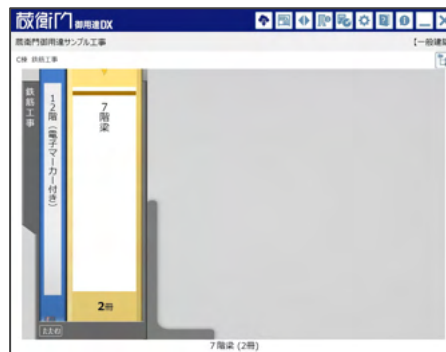
工事に参加したメンバーと本棚を編集します。

- 1 蔵衛門御用達DXで共有したい工事を選択し、【開く】をクリックします。



- 2 蔵衛門クラウドから、最新の状態の本棚がダウンロードされます。

※その工事ではじめて本棚を作成する場合は、仕分け方法選択が表示されます。



- 3 本棚を編集します



- 4 【×】や【◀▶】で工事を閉じると、編集内容がクラウドにアップロードされ、ほかのメンバーが編集できるようになります。

注意

他のメンバーが本棚を編集中の場合、本棚は編集不可能な「閲覧モード」で表示されます。

